

わたしたちは平成17~19年度の 3年間でこれだけ節約しました。

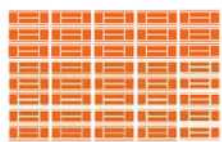
電力使用量 =
15世帯の約1.1年分
=60,712kWh分節約



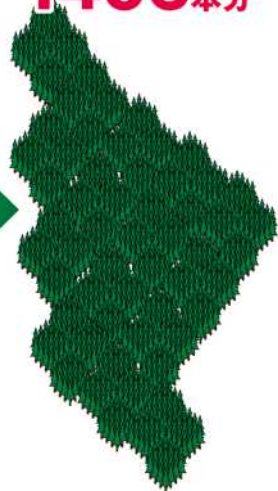
自動車燃料 =
ドラム缶(200L)約88本分
=17,654L分節約



A4コピー紙 =
テニスコート約40面分
=168,557枚分



これをスギの木が
吸収するとしたら…
1406本分



同社が取り組んでいる環境活動の結果を杉の木に換算すると……

取

材当初は「CSRですか。特別なことは、やっていませんよ」とおっしゃっていた小堀社長ですが、話し始めると出てくること、出てくること。

「HPにも掲載していますが、平成14年から19年まで環境ISO(14000シリーズ)を続けていたので、その結果、資源についてはかなりの削減効果を残すことができました。現在は、ISO相当の社内独自基準を設けて継続中です」

「環境に配慮した設計にも、力を入れています。今は、公共工事については、環境配慮型でないと、まず通らない。私どもではノウハ

ウを蓄積して、事業を通じた社会貢献を目指しています」

「近隣清掃ボランティアは、毎月2回、当社周辺約700メートルの区域内で行っています」

「平成15年から定期的に月曜講座『e・環境まめ知識』を開催しています。社員全員が持ち回りで環境に関する知識・情報を発表する場で、意識や情報、モチベーション共有が狙いです」

などなど。全部きちんと紹介したらそれだけでコーナリが埋まってしまう。詳しくは同社HPをご覧ください。

同社が手がけるのは、公共事業。その多くは大規模土木・建

次世代育成支援は、 本当はどこの会社でも 取り組まなくてはならないことです。

CSR活動に取り組む宇都宮市内の企業を紹介する本コーナー。
今回は独自の社内基準を設けて環境に取り組むなど、ユニークなアプローチを行っている第一測工(株)の小堀俊明社長に伺いました。

CSRで 輝く会社

第4回 第一測工株式会社



代表取締役社長
小堀 俊明 氏

設工事に関係します。それだけに、環境への配慮については、特に力を入れているといいます。

「私どもの経営理念が『社員幸福の追求と、快適な国土づくりへの貢献』です。社員については経営の安定と福利厚生など、国土づくりについては環境問題への対応が、私どもでも重視しているポイントです」

お客様が「環境に配慮したい」という要望を出された場合、それに適格に応じ、具体的な案を示すことができる——そういう企業であるために、当社では人材育成にも力を注いでいます。先に挙げた「e・環境まめ知識」も、その一環。もちろん、研修や資格取得についてもサポートしています。と同時に快適に働くことのできる労働環境整備も重視しています。

「次世代育成支援には、意識して取り組んでいます。5つの目標を掲げて、たとえば育児支援や、ノー残業デーの設定、有給休暇

の取得アップなどを行っているところですよ」

そう言いながら「でも、本当はどんな企業でもやらなくてはならないことだと思えます。当社もまだまだ未熟ですけどね」と笑顔を見せます。

現在のように厳しい経済情勢、社会情勢の中で、労働環境の改善は社会貢献としても大きな意義があります。

同社の取り組みは、その多くが、どの会社でも一歩踏み出すだけで実現可能なもの。あなたの会社でも、ぜひ挑戦してください。

第一測工株式会社

代表取締役 小堀俊明
◎業種 建設コンサルタント業
◎設立 昭和27年5月
◎認定 品質ISO、
宇都宮まちづくり貢献企業、
環境にやさしい優良企業、
プライバシーマークなど

栃木県宇都宮市新町2-6-10
☎ 028-633-0468(代)
<http://www.d-sokko.co.jp/>



第一測工(株) 本社工屋